

## 平成 29 年度 指定ごみ袋に関するアンケート調査結果について

### 1. 調査の背景・目的

八戸市では、平成 13 年 6 月から指定ごみ袋による家庭ごみの有料化を実施しています。

指定ごみ袋は、燃やせるごみ用、燃やせないごみ用ともに 45 リットル、30 リットルの計 4 種類で開始し、その後、平成 13 年 11 月に燃やせるごみ用 20 リットルを、平成 15 年 9 月に燃やせないごみ用 20 リットルを追加しましたが、その後、サイズの追加や変更はなく、形状は「平袋」、材質は「低密度ポリエチレン」を採用しています。

ここ数年、市議会議員やごみ減量推進員、市民の方から取っ手付きがほしいとの要望があり、平成 24 年度から(平成 26 年度は除く)市民に対するアンケート調査を行い、現在採用している「平袋・低密度ポリエチレン」の希望が過半数を占める結果となっています。

今年度は、8 月に開催したごみ減量推進懇談会と 10 月に開催した家庭ごみ減量講座の参加者を対象にアンケートを実施しました。

2. 調査日 ①平成 29 年 8 月 7 日～8 月 31 日 (※期間内のごみ減量推進懇談会開催日 全 14 回)

②平成 29 年 10 月 3 日～10 月 31 日(※期間内のごみ減量講座開催日 全 16 回)

3. 調査対象 ①ごみ減量推進懇談会へ出席したごみ減量推進員ならびに町内会長

②家庭ごみ減量講座の参加者

4. 実施方法 現在、八戸市で採用している「平袋・低密度ポリエチレン」のほか、「取っ手付・高密度ポリエチレン」、「取っ手付・低密ポリエチレン」の 3 種類の現物<sup>(※1)</sup>を用意し、来場者に、実際に結んだり持ち運んだりとの使用感や容量について比較してもらい、また、職員から材質の違いによる特徴<sup>(※2)</sup>の説明を行った上でアンケート用紙に回答いただきました。

※ 1. 3 種類いずれも縦 80 c m (取っ手付は取っ手部分も含む)

横 65 c m (取っ手付はマチ部分も含む)

厚さ 0.04mm

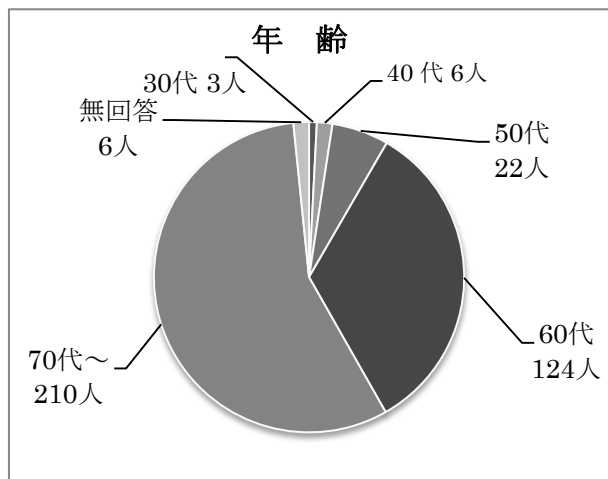
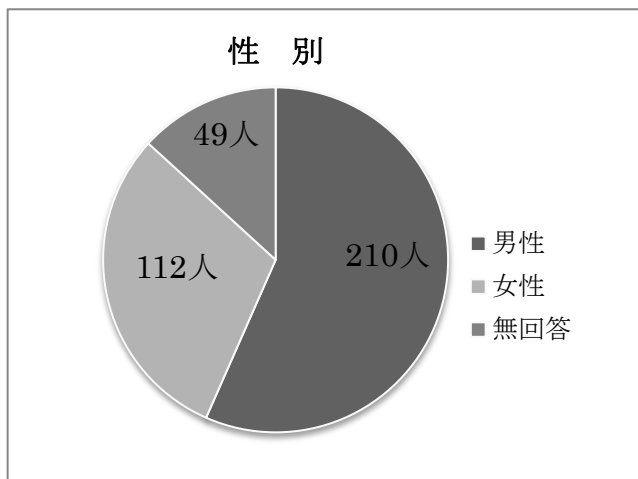
※ 2. 高密度と低密度の違いについて

高密度ポリエチレン → 引っ張っても破れにくいですが、同一方向に裂けやすく手触りはパサパサしている。

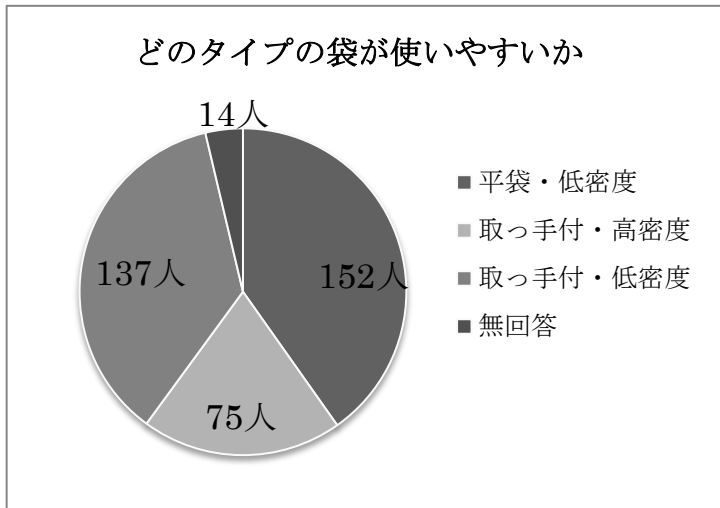
低密度ポリエチレン → 高密度ポリエチレンに比べて伸びて破れることがあるが、裂けにくく、手触りはツルツルしている。

5. 回答数 371 人 (ごみ減量推進懇談会 216 人、家庭ごみ減量講座 155 人)

### 6. 基礎情報の集計

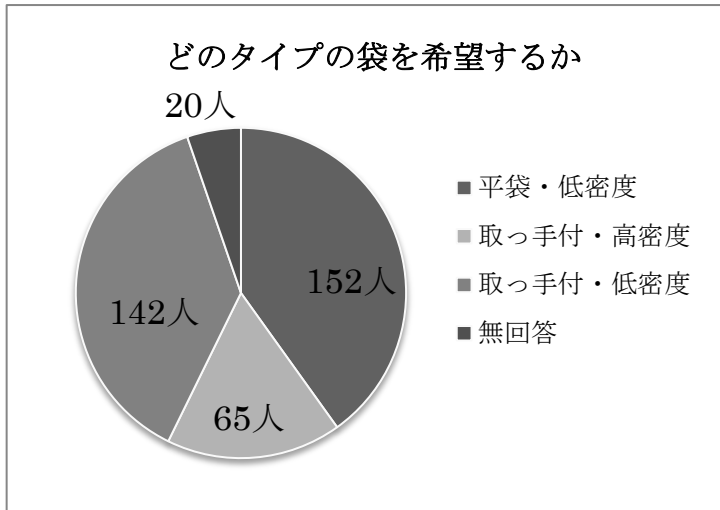


【問1. 3種類のごみ袋のうち、どのタイプがもっとも使いやすいですか。】



重複回答があるため計が回答者数(371人)と一致しない

【問2. 3種類のごみ袋のうち、どのタイプを指定ごみ袋として希望しますか。】



重複回答があるため計が回答者数(371人)と一致しない

※前年との比較

回答設問	回答数	現状（平袋・低密度P）	取っ手付・高密度P	取っ手付・低密度P	取っ手付2タイプ計	無回答
どのタイプが使いやすいか	29	152人 (40.2%)	75人 (19.8%)	137人 (36.3%)	212人 (56.1%)	14人 (3.7%)
	28	58人 (46.0%)	19人 (15.1%)	46人 (36.5%)	65人 (51.9%)	3人 (2.4%)
前年比		-5.8ポイント	+4.7ポイント	-0.2ポイント	+4.5ポイント	+1.3ポイント
どのタイプを希望するか	29	152人 (40.1%)	65人 (17.2%)	142人 (37.5%)	207人 (54.7%)	20人 (5.2%)
	28	60人 (47.2%)	13人 (10.2%)	46人 (36.2%)	59人 (46.4%)	8人 (6.4%)
前年比		-7.1ポイント	+7.0ポイント	+1.3ポイント	+8.3ポイント	-1.2ポイント

【参考：これまでの調査等】

平成24年9月に、市政モニター99人に対し、形状について取っ手付きが必要か等のアンケートを実施。結果、取っ手付きを必要と回答した方は約30%。

平成25年9月に、環境展来場者726人に対し、形状について取っ手付きが必要か等のアンケートを実施。結果、取っ手付きを必要と回答した方は36%。

平成 27 年 10 月に、家庭ごみ減量講座来場者 211 人に対し、各ごみ袋のサンプルを用意し、実際に結んだり持ち運んだりしてもらい、使いやすさ、どのタイプを希望するかについてアンケートを実施。結果取っ手付きを希望(必要)と回答した方は約 40%。

平成 28 年 10 月に家庭ごみ減量講座来場者 141 人に対し、各ごみ袋のサンプルを用意し、実際に結んだり持ち運んだりしてもらい、使いやすさ、どのタイプを希望するかについてアンケートを実施。結果取っ手付きを希望(必要)と回答した方は約 46%。

### 【問 1・2 の主な回答理由】

#### 現状(平袋・低密度ポリエチレン)を選択した理由

- |                                     |  |
|-------------------------------------|--|
| <input type="radio"/> 現状で別に不便と思わない  | <input type="radio"/> 使用しやすい           |
| <input type="radio"/> 入れやすい         | <input type="radio"/> 量が多く入る           |
| <input type="radio"/> 使い慣れている       | <input type="radio"/> 破れにくい            |
| <input type="radio"/> 量に応じて結びを調整できる | <input type="radio"/> ごみ箱の高さを考えると現状が良い |
| <input type="radio"/> 伸縮性があってよい     |  |

#### 取っ手付・高密度ポリエチレンを選択した理由

- |                                       |   |
|---------------------------------------|---|
| <input type="radio"/> 持ちやすい           | <input type="radio"/> 穴が開きにくそう(破れにくい)       |
| <input type="radio"/> 結びやすい           | <input type="radio"/> 使いやすい                 |
| <input type="radio"/> 燃えないごみだと取っ手付がいい | <input type="radio"/> 物を入れるときに持つ箇所があれば使いやすい |
| <input type="radio"/> 強度があって縛りやすい     |   |

#### 取っ手付・低密度ポリエチレンを選択した理由

- |                                   |  |
|-----------------------------------|--|
| <input type="radio"/> 運びやすい       | <input type="radio"/> 結びやすい                        |
| <input type="radio"/> 持ちやすい       | <input type="radio"/> 結びやすく伸びるほうが良い                |
| <input type="radio"/> マチがある分入れやすい | <input type="radio"/> 裂けにくい                        |
| <input type="radio"/> 手ざわりが良い     | <input type="radio"/> 取っ手付で結びやすくなるとごみの詰め方がやさしくなりそう |

### 【問 3. その他、ごみ袋に関して意見等がありましたら、自由にお書きください。】(※ごみ袋関係抜粋)

- ごみ袋の中身が見えにくいものが良いが
- ごみ袋に氏名を記入するタイプに変更してはどうか
- 町内会名を記入できるようにしてほしい
- 取っ手付きはコスト増になるのでは
- カラス対策につながるごみ袋の開発はできないか
- カラス等が嫌う「ニオイ」などはつけられないか
- ペットボトル、缶用の袋も販売してはどうか
- 燃やせないごみ袋の改善、縦の長さを従来より長くして欲しい
- 小さいごみ袋には取っ手が付かない方がいい
- 取っ手付、平袋両方作れば良いと思う
- もう少し厚さを増やして丈夫にして欲しい
- 値上げはしないでほしい
- 枝などを入れると破れやすいので良い考えがないか
- 1人暮らしの場合 10ℓ くらいの袋を用意して欲しい
- 燃やせないごみ袋は 5 枚入りなどが欲しい。公民館などで 1 枚単位で購入したい

## 7. 調査結果について

今回のアンケート調査結果で、「1. どのタイプが使いやすいか」の設問について、2タイプの取っ手付きを合計した場合の人数では、現状の平袋を上回り、対前年比割合も上昇いたしました。その理由では、「結びやすい」、「持ちやすい」との記述が多く見られました。

また、「2. どのタイプを指定袋として希望するか」の設問についても、2タイプの取っ手付きを合計した場合の人数では、現状の平袋を上回り、対前年比割合も上昇いたしました。

材質については、低密度ポリエチレンを使いやすい及び希望するとの声が多い結果となり、意見としては「伸縮性がある」という意見が多く、高密度については、「丈夫である」や「破れにくい」という意見がありました。

今回の調査では、従前までと傾向が異なり取っ手付を希望する割合が平袋を上回る結果となりました。この結果を受けまして、今後指定ごみ袋への取っ手付の導入に関して、容量や形状、製造費用など具体的な条件等に基づき検討を進めてまいります。